

湖南省文化財保存活用地域計画ワークショップ企画案

○目的

文化財保存活用地域計画の策定に向け、とりわけ「地域総がかり」で文化財の保存・活用を進める一環として、住民等（関係人口を含む。）と共に市内文化財に触れ、その保存と活用を考えるためのワークショップを開催する。

具体的には、地域の文化財の解説付き見学会を実施し、そして、そのあとワークショップを実施する。ワークショップでは地域の文化財に関する情報を収集し、文化財に関する課題とその施策を話し合い、これらの成果を湖南省文化財保存活用地域計画における当市の将来像や保存活用に関する課題と方針、その措置の検討へとつなげる。

○期間

令和7年7月から8月まで

- ・第1回 令和7年7月中頃
- ・第2回 令和7年8月中頃

○会場

市内文化財とその付近の会場

○参加対象者

湖南省に関わりのある中学生以上のかた

※20人程度を想定

○ワークショップの進め方

参加メンバー選定

依頼枠

- ・ 地域団体（まち協等）に依頼する。

公募枠

- ・ 広報誌や市 HP 等で募集

第 1 回

- ・ 文化財見学会①
- ・ 湖南省の文化財
- ・ 地域計画とは
- ・ 地域の文化財掘り起こし

湖南省の文化財に触れ、身近に感じてもらう。
地域の文化財の掘り起こしから、湖南省文化財
のグループ分けを考える。その中から一つ深く
考えたい文化財グループを決定する。

第 2 回

- ・ 文化財見学会②
- ・ 保存と活用にかかる課題
- ・ 解決にむけた方針

前回設定したテーマの現状の課題を考え、その
解決策や方向性を示し、結果どのようなになるか
を検討する。

○第1回ワークショップ

【市の文化財に触れ、地域のたからについて話し合おう】

・第1回：令和7年6月下旬 場所：未定

プログラム		時間
1. 文化財の解説付き見学会		30分
2. 会議室に移動し、グループとテーブルを案内		10分
3. グループワーク	①グループで自己紹介（アイスブレイク） ・お名前、お住まい、見学会の感想、好きな文化財など	10分
	②湖南市の文化財の説明（事務局）	10分
	③地域計画の説明（事務局）	10分
	④湖南市の文化財掘り起こし ■各自付箋記入（5分） ■発表と意見交換、グループ化（15分） ■テーマを決定する（5分）	25分
	⑤発表準備 ■話し合いの内容を振り返る ■発表者はファシリテーター	10分
	⑥発表 ■ほかのグループを自由に見て回る ■質問回答はファシリテーターが担当	15分
4. その他：事務局説明（次回の連絡等）		5分
5. 閉会		5分
		130分

○第2回ワークショップ

【テーマに沿って課題や対策について話し合おう】

第2回：令和7年7月下旬 場所：未定

プログラム		時間
1. 文化財の解説付き見学会		30分
2. 会議室に移動し、グループとテーブルを案内		10分
3. グループワーク	①グループで自己紹介（アイスブレイク） ・第1回の振り返り、見学会の感想など	10分
	②課題について話し合い ■シンキングタイム（5分） ■話し合い（15分）	20分
	③課題に対して何ができるか ■シンキングタイム（5分） ■話し合い（20分） 自分ひとりでできること 地域でできること 行政に期待すること	25分
	④発表準備 ■話し合いの内容を振り返る ■発表者はファシリテーター	10分
	⑤発表 ■ほかのグループを自由に見て回る ■質問回答はファシリテーターが担当	15分
4. その他：事務局説明（次回の連絡等）		5分
5. 閉会		5分
		130分

○周知・PR・報告

- ・ 5 月 地域代表者会議三役会議にて地域まちづくり協議会に参加者の推薦依頼をする

※あわせて、未指定文化財のリストの精査についても協力を仰ぐ

- ・ 5 月 総合政策会議にて報告
- ・ 6 月 区回覧、組回覧にてチラシを配布する
- ・ 6 月 市 HP にて参加者を募集する
- ・ 6 月 市広報、メール、こなんいろ、LINE にて参加者を募集する

※広報 6 月号は 4 月に掲載依頼等あり、5 月上旬校了

- ・ 6 月 議員全員協議会にて報告

○備考

- ・ 単なる座学や街歩きではなく、直接市の文化財に触れ、専門的知識をもった方から解説を受けることでより文化財に興味関心を高め、残していきたいと感じてもらう。
- ・ 成果はまとめて地域計画の資料集等に掲載する。